



# 地域国際化協会 ダイレクトリー

本書は、地域国際化協会(注1)相互の情報共有化及び情報交換を促進するための一環として、地域国際化協会連絡協議会(注2)が平成二年から毎年発行しており、今回で一四回目となる。

(財)自治体国際化協会調査部連絡調整課

## 1 本書の構成アウトライン

本書は、次の三つのポイントに重点を置き、全国五九の協会を紹介したものである。

- ①各協会の組織、活動の概要及び主要事業等を協会ごとに二ページにわたり紹介する。
- ②各協会の平成一五年度事業を便宜上「事業内容別一覧(A)」「注3」、「事業内容別一覧(B)」「注4」の二つの分野、一二の事業に整理する。

例えば、「講演会・シンポジウム・フェスティバル」という事業について興味を持った場合、ダイレクトリーでこのページを開けば、この事業を実施している協会を見つけることができる。

- ③各協会の事業実施の有無をひと目で分かるように、縦軸に協会名、横軸に事業名を載せた表形式に整理する。

## 2 本書の目的

本書は、協会相互の情報交換の際の資料や情報となるばかりではなく、各地域で既に活動を行っている民間団体、また興味を持

っておりこれから活動に加わろうとしている方々等に正確な情報を提供し、協会の活動への理解を深めてもらうことを目的としている。

今年度からは、ダイレクトリーを印刷物で発行するとともに、誰もが簡単に協会の活動内容を知ることができるように、(財)自治体国際化協会のホームページにも掲載することとした。(http://www.clair.or.jp/j/clairinfo/chiki/directory.html)

多くの人々がこのダイレクトリーのホームページを目にする中で、今までも増して地域における国際交流活動に興味を持ち、活動に参画するきっかけを得るなど、国際交流の裾野の拡大に寄与するものであると期待している。

## 3 作成方法

本年度から、経費節減とホームページ掲載を目的に各協会のデータを電子ファイル化することとした。事務局で作成したダイレクトリー入力書式を各協会にEメールで送付し、各協会は最新のデータを入力した

後Eメールで事務局に返信し、事務局が入力済の各協会のファイルを整理して最終稿を完成させるものである。印刷においては、この最終稿が印刷会社の版下となり経費の削減となる。ホームページにおいても、この最終稿がPDFファイルの原稿となる。

## 4 おわりに

本書は、今回はじめて電子ファイル化するに当たり、協会の概要や事業内容別一覧の分類方法などについて、昨年末の構成を大幅に変更した。

当該ダイレクトリーを見る側からの視点に立ち、各協会が行っている主要な事業の記載を従来よりも増やし、それぞれが地域の特性に沿ってどんな事業を実施しているのかという点をアピールできるように心がけた。見る側からは、この構成によって従来にも増して各協会の特色が分かりやすくなったものと期待するものである。

参考までに、ダイレクトリーのイメージを掲載する。

### 地域国際化協会の概要

名 称	(財)〇〇〇県国際交流会	
英文名	〇〇〇INTERNATIONAL ASSOCIATION	
代表者	理事長〇川〇男	
設立年月／地域国際化協会認定年月	平成〇年〇月	
基本財産／年間予算額／基金額	〇〇万円／〇〇万円／〇〇万円	
会員制度	正会員〇人(年会費〇円)、法人会員〇団体(年会費〇円)	
役員数／職員数	〇人(常勤〇人)／〇〇人(正規〇人、派遣〇人)	
国際交流 施設の概要	事務所	〇〇県所有、面積〇〇m、〇平成年〇月設置
	会議室	〇〇県所有、面積〇〇m、平成〇年〇月設置
民間国際交流団体とのネットワーク	連絡調整会議(4月開催)	
定期刊行物	機関誌「〇〇」発行	
主な出版物	事業年報	
平成15年度 主要事業	留学生に対する 支援制度事業	
所在地・連絡先	〒111-0000 〇〇県〇〇市〇〇町1丁目1番地 TEL000-123-4567 FAX0000-123-5678 URL <a href="http://www.000.or.jp">http://www.000.or.jp</a> e-mail 000@abc.or.jp	

### 事業内容別一覧(A):①講演会・シンポジウム・フェスティバル等

地域国際化協会名	講師等	テーマ
(財)〇〇〇県国際交流会	〇〇大学学長 〇山〇男	地域における国際交流について
(財)×××市国際交流会	××国大使	××国の地域国際交流のありかた
(財)△△△県国際交流会	△代表 △川△子	NGOと交流協会の共存について

### 事業内容別一覧(B):⑨日本語講座

地域国際化協会名	主たる対象者	講 師
(財)〇〇〇県国際交流会	県内在住外国人	日本語講師有資格者
(財)×××市国際交流会	市内在住外国人	日本語講師養成研修修了者
(財)△△△県国際交流会	県内在住外国人	日本語講師有資格者

(注1) 地域国際化協会は、地域レベルの国際化を推進する中核となる民間の国際交流組織として旧自治省(現総務省)により認定されたもので、それぞれの地域で多様なニーズに対応した活動を積極的に展開している。

(注2) 地域国際化協会連絡協議会は、「地域国際交流推進大綱の策定に関する指針」(平成元年二月自治省通達)に基づく国際交流推進大綱に位置付けられた中核的民間国際交流組織である地域国際化協会の相互連携、情報交換を通して、地域レベルの国際化の推進に寄与することを目的として発足した。

(注3) 事業内容別一覧(A)は、①講演会・シンポジウム等、②海外との交流、③国際理解・国際協力事業、④留学生に対する支援制度、⑤在住外国人と地域住民との交流事業、⑥在住外国人生活支援事業、⑦海外移住者等への支援事業

(注4) 事業内容別一覧(B)は、⑧外国語講座、⑨日本語講座、⑩民間国際交流団体とのネットワーク、⑪ボランティアの登録・育成制度、⑫民間国際交流団体への支援・助成制度